

科目名		テクノロジー実習							年度	2025	
英語科目名		Technology Practice							学期	前期	
学科・学年		電子・電気科 電気工学コース 1年次		必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員		長澤 正明		教員の実務経験		有	実務経験の職種		電気主任技術者		
【科目の目的】											
この科目では、学生が講義科目で学んだ事を実習を通じて総合的に理解し、回路図からの実配線方法、各種機器の取扱い方法を習得し、今後の実習科目を自主的に進めていくことができる基礎を習得することを目標とする。											
【科目の概要】											
電気工学コースの本質的な理解目標である「電気とは何か？」を理解する為に、この科目では講義科目で学んだ基本的な電気の性質などを実習を通じて理解し、計器の取扱い方法、報告書の作成方法などを習得することを目的とする。											
【到達目標】											
A. 課題把握・内容理解 B. 実験説明 C. 実験グループでのコミュニケーション D. スケジュール管理 E. レポート提出											
【授業の注意点】											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。実習科目の為、理由の有無に関わらず遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力						
到達目標 A	実験の目的、原理等について予習ができており、使用機材や扱う物理量も把握している	予習レポートを作成し、実験の目的、原理、方法等について十分理解できている	予習レポートは作成しているが表面的な内容のみで具体的な目的、原理等理解が不十分	予習レポートは作成しているがテキストの丸写しで、実験内容は把握できていない	予習レポートを作成せず、実験テーマすら把握できていない						
到達目標 B	メモを取りながら説明を聞き、理解できなかったことや興味の湧いたことを追及する	メモを取りながら説明を聞き、理解できなかったことを復習や教員への質問で解決する	メモを取りながら説明を聞いているが、理解できなかったことをそのままにしている	メモも取らず説明を聞いており、理解できなかったことを解決せずにそのままにしている	隣の学生と私語をしたり、メモも取らず説明も上の空で聞いている						
到達目標 C	意見を聞き、共同実験者が実験に対する理解を深めるよう促すことができる	相手の意見に関心を持って積極的に注意深く聞くことができる	相手の意見を尊重せず、自分の意見や考え方を押し付ける	自分の考えや意見は無く、相手の意見や指示に従うだけである	自分の意見や考え方もなく、相手の意見も理解できていない						
到達目標 D	計画的に作業を進め、早めにレポートを作り上げ、さらに完成度を高めることができる	締切日までに計画的にレポート作成できるが、さらに時間があればより良いものができるのに妥協してしまう	スケジュールの管理ができず、成り行き任せで、なんとか間に合わせている	前日に徹夜で仕上げるため、丁寧さが無く、データの整理にしばしば誤りがある	スケジュール管理ができず締切日の直前に取り組み始めるので、提出期限に間に合わない						
到達目標 E	チェックポイントをすべて満足していることを確認した上で提出している	チェックポイントを確認し、形式的なところだけ修正して提出している	十分な形にはなっていないが、確認せず提出し、誤りを修正できずに提出している	チェックポイントを確認せずに不十分な形で提出している	レポートを提出しない（できない）						
【教科書】											
電気基礎実験											
【参考資料】											
【成績の評価方法・評価基準】											
レポート 平常点	80％ 20％	各課題に対する理解度を確認するために実施する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。											

